

教科・学年・小学校と中学校をつなぐ 私も気付いた 「これも消費者教育」

「これも消費者教育」プロジェクトメンバー

老蘇小学校校長 甲津 晃弘
学校教育課指導主事 小崎 美香
安土中学校教諭 弓削 久美
八幡中学校教諭 北川 梨恵
桐原東小学校教諭 荒金 毅
岡山小学校教諭 木村 真由美
島小学校教諭 深尾 真理菜
桐原小学校教諭 林 大貴
安土小学校教諭 佛原 泰斗

佛原先生、これが『やっと気付いた。これも消費者教育。』だよ！



社会参画を目指す消費者教育はカリキュラム・マネジメントのモデル

老蘇小学校校長 甲津 晃弘

消費者教育は子どもたちの毎日の生活の仕方につながります。私も自身も消費者教育を学んだことで、自らの生き方を振り返り、行動を変えることができました。そんなこの積み重ねで、**消費者市民社会**ができるのだと思っています。また、消費者教育というフィルターを通して小中学校の先生がワークショップを続けてきたことで、楽しく学びながら教科横断的な考え方や校種の接続が見えました。

まさしく、消費者教育はカリキュラム・マネジメントのモデルになります。



消費者市民社会

自らの消費行動が社会経済や環境に影響を与えることを自覚して、公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に参画する社会

消費者教育は

学校の学び

と

地域

社会

世界

未来



近江八幡市消費者教育 2019 のご紹介

- 「これも消費者教育」プロジェクトの成果
2019 実践シート ほか
- SDGs こども見守り隊写真 ほか
実施校：安土小学校、老蘇小学校、金田小学校
桐原小学校、桐原東小学校

校務外部
→近江八幡市
でご覧ください



SDGs(持続可能な開発目標)

国連で2015年に採択された、世界の全ての人たちが幸せになるために、2030年までにみんなで取り組む17の目標です。「誰一人取り残さない(leave no one behind)」がキーワードです。



エシカル消費

人や社会、地球環境や地域に配慮した考え方や消費行動をいいます。SDGs を達成し地球を持続可能にするためには、エシカル消費が重要です。

発行：2020年3月
近江八幡市消費生活センター
制作協力：近江八幡市教育委員会
制作：(公財)消費者教育支援センター



親子体験プログラム
「手作りノートとランチに隠されたヒミツを探せ！」
エシカル消費の視点でワークを実施しました

年・小学校と中学校をつなぐ近江八幡の消費者教育

